

令和8年度 札幌市立西野第二小学校「学ぶ力」育成プログラム No.2

全国学力・学習状況調査結果に係わって

本校の概要	課 題	改善の方向
<国 語> ・「話すこと・聞くこと」について、全国平均を上回っている。特に、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することが、全国平均を上回っている。 ・「書くこと」について、全国平均とほぼ同程度であるが、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることが、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ・「読むこと」について、全国平均を上回っている。特に、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることが、全国平均を上回っている。 ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、比喻や反復などの表現工夫に気付くことが、全国平均を下回っている。	●目的や相手に応じて文章全体の構成を考えること。 ●言語に関する知識を深め、適切に書いたり、活用したりすること。	○読み手の知識や経験を具体的に想定し、それに応じて書き出しや構成を考えて書く学習活動の充実。 ○言葉のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにする学習活動の充実。
<算 数> ・「数と計算」については、全国平均を下回っている。特に、異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述することが、全国平均を下回っている。 ・「図形」については、全国平均を上回っている。特に、体積の意味についての理解が、全国平均を上回っている。 ・「測定」については、示された情報を基に、数量の關係に着目して、条件に合う時間を求めることが、ほぼ全国平均と同程度であるが、やや上回っている。 ・「変化と関係」「データの活用」については、ほぼ全国平均と同程度であるが、やや下回っている。特に、百分率で表させた割合と比較量から、基準量を求めること、日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することが、全国平均を下回っている。	●少数や分数などの数の意味と表し方、計算の意味や計算の仕方などについて理解し、正しく計算すること。 ●データの分布の傾向を読み取り、分類整理すること。	○既習と関連付けながら、数と計算の意味や仕組みについて理解が深まる学習活動の充実。 ○日常の事象など様々な問題場面から、必要な情報を的確に読み取り、筋道を立てて考えたり、説明したりする学習活動の充実。